

ファイナルレポート

国際セラミックス・粉末冶金技術・イノベーション・原材料専門見本市
2022年6月21日～24日

2022年6月24日

ceramitec 2022 世界中から多くの出展者と来場者を引き付ける

Summary

- 34カ国から356社が出展、そのうち63%が国外から
- 諸外国84カ国から約10,000人(総来場者数の58%)が来場
- 主なトピックは、資源の有効活用と脱炭素化
- 出展者は来場者多数に高い関心



Facts & Data

会期	2022年6月21日(火)～24日(金) 午前9時30分～午後6時30分(最終日のみ午後4時まで)
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	Messe München GmbH -メッセ・ミュンヘン
規模	30,000 m ² (2018年:40,000 m ²)
出展企業	34カ国から356社(2018年:38カ国から615社)
来場者総数	84カ国から10,000人(2018年95カ国から15,512人)
主な出展品	原料、添加剤、資材、付属品、保管・貯蔵、運搬、計量、粉砕、製粉、評価、選別、混合、成形、施釉、装飾、表面処理、熱処理、測定、制御、分析・ラボ機器、プラント建設、除塵、フィルタリング、包装・梱包、オートメーション、工具、予備・交換部品、環境保護、工業用セラミックス、コンポーネント・サービス、研究、学術・業界専門媒体・協会・団体など
併催プログラム	Conference Program
出展日本企業	AGC セラミックス(株)、UBE マシナリー(株)、日本電産シンポ(株)、東ソー(株)、ほか
専用URL	www.ceramitec.de (英語/ドイツ語)

4日間、3つホールに世界中から多数の出展者と来場者：6月21日から24日までメッセ・ミュンヘンで開催された ceramitec は、困難な状況下にもかかわらず、業界関係者の再開の場となった。34カ国から356社が出展し、そのうち63%が国外からであった。アジア地域からの渡航制限や地政学的な不確実性リスクがありながらも、84カ国から約10,000人(国内を含む総来場者数の58%)が来場し、セラミックス業界をリードする国際見本市となった。

来場者の質の高さと豊かな国際性
Netzsch-Gerätebau 社のマネージングディレクターでセラミテック諮問委員会会長の Jürgen Blumm 氏は、「今回の見本市を非常に前向きに評価している。予想どおり来場者数は減少したが、世界各国から短期的な投資ニーズに関する具体的な問い合わせの数が従来を上回っていた。その点からみても、ceramitec 2022 は、当社にとっては今や大成功と言える」と述べた。metalcértima 社のセールスマネージャー Hélder Almeida 氏は、「具体的ニーズをもつ実に有望な見込顧客が世界中から幅広く来場した。我々のブースに来た人は皆、我々との取り引きを望んでいた」と言い切った。



巻き返しを目指す業界

Lingl Anlagenbau 社の正式代表者である Karl Liedel 氏は、資源の有効利用、気候変動への対応、エネルギーの節約は、セラミック産業においても重要なテーマとなっていることを説明し、「ceramitec 2022 への期待は、十二分に満たされた。また、取引のある多くの顧客が立ち寄ってくれた一方、新たな出会いも多数あった。今、脱炭素化について話し合い、お客様の省エネを支援することは非常に重要なことである。そのためには、専門家が集まって議論する場として、ceramitec のようなプラットフォームが必要である」と述べ、最後に大事なことを言



っておきたいとして、「このたび ceramitec に参加して、顔を合わせて話をすることが本当に大切であると、よく分かった」と、話を閉じた。

数々のイノベーションを盛り込んだ会議プログラム

ceramitec の会議プログラムには、話し合いの機会も設けられていた。非常に好評で、見本市期間中を

通してディスカッションの場として活用された。会議プログラムの中で、15社の共同出展者と2つのトレードフォーラムを開催した Pôle Européen de la Céramique 社のコミュニケーション・イベントディレクター Mathilde Forestier 氏は、「我々のプレゼンテーションは、多くの来場者を魅了した。多くの来場者が訪れ、その内容にも興味を示してくれた。具体的には、その後のディスカッションの中で、現在の課題に対応するために、特に多くの異なる材料の加工や熱処理におけるソリューションとイノベーションが必要であることがよく分かった」と強調した。Ferro 社のグローバルマーケティングマネージャーである Pauline Darbouret 氏は、「4年ぶりに ceramitec でお客様やパートナーを迎えることができ、大変うれしく思っている。今回のこの日は、我々のカレンダーに重要な日付として刻まれよう。ceramitec は正に新製品のテクノロジーとデバイスを実際に提示するプラットフォームである。今回はそのことを体験する絶好の機会であった」と述べた。

「次もまた、直接会うことができる」

メッセ・ミュンヘン資本財見本市部門のエグゼクティブ・ディレクターであるコリン・デイビスは、「今回の見本市には、世界各国から多くの業界関係者が来場し、大変うれしく思っている。こ



のことは、ceramitec が世界レベルでいかに重要であることを証明している。出展者からのフィードバックは、見本市では実際に顔を合わせた対話が肝要であることを明確に示している。「ようやく、次もまた直接会えるようになった」という声を何度も耳にした」と述べた。

次回 ceramitec は、2024年4月23日から26日まで、ミュンヘンで開催される。

ceramitec 詳細情報はこちらまで: <http://www.ceramitec.de>

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社 メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)